



# 結進仕 団躍奉

# 鹿児島けんちく

発行所  
一般社団法人 鹿児島県建築協会  
〒892-0853 鹿児島市城山町2-13  
電話 099-224-5220 FAX 099-227-5479  
http://www.kagoken.net/  
E-mail:info@kagoken.net



平成27年4月に開校する鹿児島県立楠集中高一貫教育校(肝付町)  
(写真提供:鹿児島県)

明けましておめでとうございます。皆様方には、ますますご健勝で新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

平素から当協会の諸活動に対し、温かいご理解・ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨今の我々建築関連業界の状況を申し上げますと一部には厳しい面もありますが、ようやく明るい日差しが差し込んできたのではないかと感じています。経済は回復基調が続



いているとは言うものの、一昨年来で鹿児島地方においては、まだまだ景気の良さを実感出来るにはほど遠い状況でしたが、この一年で「少しは良くなって来たかな」と思えるような変化も見えております。

そのような状況の中、我々建設業界の担い手確保を実現するため「品確法」を中心に、密接に関連する「入札契約適正化法」、「建設業法」のいわゆる「担い手三法」が一体として平成二十六年六月四日に公布・施行されました。

平成二十七年度は良くなりつつある流れを継続・拡大させ、さらにこれからは「適正な利潤」が確実に確保されるようにならなければなりません。

謹賀新年

元気・活力ある業界へ

一般社団法人鹿児島県建築協会 会長 前田 正人

今回の改正でも「適正な利潤の確保を可能とするためには、予定価格が適正に定められていることが不可欠」と発注者の責務が明確に示されています。

週休二日制の完全実施や賃金、給与の引き上げ、若年労働者が入職しやすい労働環境の整備など、まだまだ改善しなければならぬ課題は山積しておりますが、これらを改善するためにも「適正な利潤」が確保されることと、中長期に亘る安定的な事業量の確保が明確に示されること必須の条件です。

本年四月には運用指針が示されますが、発注部局には指針に基づき適切、且つ、効率的に実行されるよう望んでいるところです。これは業界の将来を左右する重要な問題でもありますので、我々業界としても大きな期待を寄せております。

ところで、昨年暮れに衆議院選挙がありました。安倍首相は「経済回復」アベノミクスの「是非を問う」として選挙戦を戦いましたが、結果は自民・公明の圧勝となりました。安倍政権にはこの良くなりつつある流れを変え、ことなく引き続き継続し、計画的なインフラ整備や老朽化した施設の建替・改修による国土強靱化の促進など必要な公共投資は遅滞な

く実行され、一刻も早く、「地方創生」が現実のものとなるよう念願しております。

まさに業界を、より「元気ある・活力ある」ものにして頂きたいと大いに期待しております。

近年は特に各地で自然災害が頻発しています。当協会としても災害時の復旧・復興など地域貢献・社会貢献にも積極的に取り組んで行かなければなりません。衰えていた体力を回復させ、社会の要請にも適確に応えられるよう組織体制の充実を図り、また、山積する様々な課題解決にも役員一同力を合わせ取り組んで行きたいと考えております。

最後に今年一年が皆様にとりましてより良き年となるよう祈念し、また、皆様に信頼され地域に貢献する建築協会として会員一同頑張っております。

平成二十七年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

鹿児島県建築協会に



平成二十七年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

鹿児島県建築協会に

## 建築業の発展に向けて

鹿児島県知事 伊藤 祐一郎

関係ご当局の一層のご理解とご指導をお願いし、併せて皆様方のますますのご健勝ご多幸をご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。

関係ご当局の一層のご理解とご指導をお願いし、併せて皆様方のますますのご健勝ご多幸をご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。



## 「豊かさ実感都市・かごしま」の実現

鹿児島市長 森 博幸

新春を迎え、皆様にご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃から建築工事に係る技術の向上と業界の健全な発展のため、たゆまぬご努力を重ねておられますことに敬意を表しますとともに、災害発生時の応急対策など、社会貢献活動も積極的に展開しておられますことに、心から感謝を申し上げます。

さて、我が国は今、震災からの復興の加速化や経済再生などの課題に直面しております。また、日本の人口が五十年後には三分の二ま

減少し、地域経済社会の維持に重大な影響を与えることも指摘されており、国においては、地方が活力を取り戻し、人口減少を克服するための取組を本格化しております。

本市もまさに人口減少への転換期を迎えようとしており、今後、将来を見据え、本市の特性を最大限に生かし、地域の活力を高め、将来に明るい展望を切り拓いていかなければならないと考えております。

そのため、明治日本の産業革命遺産の世界文化遺産登録、桜島・錦江湾の世界ジオパーク認定に向けた取組などを進め、鹿児島ならではの地域資源をさらに磨き上げ、交流のさらなる拡大を図ってまいります。また、企業立地の推進や新規創業の支援などを通じて雇用創出を図

るなど、地域経済の活性化に努めてまいります。

昨年発生した広島市の土砂災害や御嶽山の噴火災害は、いずれも甚大な被害をもたらしました。本市としても、防災対策のさらなる充実など、市民の皆様が安心して安全に暮らせる基盤づくりを進めます。

特に、建築分野においては、一昨年十一月に「建築物の耐震改修の促進に関する法律」が改正され、大規模建築物の耐震診断が義務付けられたことを受け、本市では新たに耐震診断補助制度

が下振れするリスクが懸念されています。

県内経済については、観光面は宿泊数が前年を上回るものの、生産が前年を下回るなど一部に弱さがみられるところです。

建築関係につきましては、新設住宅着工戸数が前年を下回るなど、緩やかに減少していますが、次第に下げ止まりに向かうことが期待されます。

建築業は、裾野が広く、本県の経済や地域雇用を支える上で大きな役割を果たしており、健全な建築業の育成は、重要な課題であることから、県では、県有施設を良質なストックとして長期間活用できるよう、必要な整備を着実に進めていくこととしております。

私としましては、時代の状況変化に的確に対応しながら、「かごしま将来ビジョン」や「子どもを創設したところであり、今後とも耐震化率の向上に向けた取組を推進してまいります」と考えております。

これからも「市民が主役の鹿児島市」を基本理念に、ともに考え、ともに行動しながら、真に「豊かさ」を実現してまいります。今年のお力添えを賜りますようお願いいたします。

今年の干支である羊は、家族の安泰と平和の象徴といわれています。新しい年が皆様とご家族にとりまして、穏やかで、また夢と希望の持てるすばらしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年の挨拶いたします。

おかれましては、安全かつ適正な施工を通じて、本県における建築物の質の向上と建築業の健全な発展のために御尽力いただいております。深く敬意を表します。

また、日頃から、「社会に奉仕する力強い職場産業」を目指し、社会貢献活動等にも積極的に取り組まれていること

に対処し、心から感謝を申し上げます。

さて、我が国経済は、生産はこのところ減少し、個人消費は持ち直しの動きに足踏みがみられるものの、雇用情勢は改善しています。一方で、先行きについては、消費者マインドの低下、中国やその他新興国経済の先行きなどにより、景気

からお年寄りまですべての県民にとって優しく温もりのある社会の形成を目指し、引き続き、「力みなきる・かごしま」「日本一」のくらし先進県の実現に向けて、全力を挙げて取り組んでまいります。

皆様には、今後とも、更なる技術力の研さんや一層の経営健全化に努められ、建築業界をけん引していただき、質の高い建築物の創造を通じて、県民に安全で快適な生活空間を提供するとともに、世界に誇れる本県固有のすばらしい街なみや景観づくりにお力添えを賜りますようお願いいたします。

年頭に当たり、一般社団法人鹿児島県建築協会のみならず、御発展と、皆様にとりまして、新しい年が実り多き一年となり心からお祈り申し上げます。

を創設したところであり、今後とも耐震化率の向上に向けた取組を推進してまいります」と考えております。

これからも「市民が主役の鹿児島市」を基本理念に、ともに考え、ともに行動しながら、真に「豊かさ」を実現してまいります。今年のお力添えを賜りますようお願いいたします。

今年の干支である羊は、家族の安泰と平和の象徴といわれています。新しい年が皆様とご家族にとりまして、穏やかで、また夢と希望の持てるすばらしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年の挨拶いたします。

# 新年にあたって

鹿見島土木部長 久保田 一



明けましておめでとう  
ございます。

皆様には、健やかな新年  
をお迎えのこととお慶び  
申し上げます。

また、かねてより、建設  
工事の適正な施工や労働  
安全の確保、ボランティア  
活動を通じて、地域の建設  
業の健全な発展に大きく  
御貢献いただいております  
ことに深く敬意を表し  
ます。

さて、本県の社会資本整  
備については、限られた財

源の効率的な活用の観点  
から、今後の社会基盤整  
備のあり方に基づき、県  
勢の浮揚発展に大きく寄  
与する「県土をつなぐ陸海  
空の交通ネットワークの  
構築」や「県民の生活と暮  
らしを守る安全な郷土づ  
くり」を図る事業等の「重  
点事業」を戦略的かつ集中  
的に展開するとともに、そ  
の他の事業については、「地  
域密着型事業」として、地  
域の意向を踏まえ、優先度  
を判断しながら進めてい  
るところです。

# 新年のごあいさつ

鹿見島労働局長 岩崎 修



明けましておめでとう  
ございます。

新年を迎え、一般社団法  
人鹿見島県建築協会並び  
に会員の皆様のご繁栄を  
心よりお祝い申し上げま  
す。

また、皆様には、日ごろ  
から労働行政に多大なる  
ご理解とご協力をいただ  
いておりますことに、厚く  
御礼申し上げます。

分離・分割発注に努めると  
ともに、地元で請け業者の  
活用や県産資材の優先使  
用を特記仕様書に明記し、  
地域の雇用確保や経済に  
配慮するとともに、入札契  
約制度の透明性・競争性の  
向上に努めてまいりたい  
と考えております。

また、建設業における社  
会保険未加入対策として、  
建設業許可更新時の加入  
状況確認や施工体制台帳  
への保険加入状況の記載  
など、行政、元請下請等関  
係者が一体となり取り組  
んでいくことが必要とな  
ります。

今後とも、地域の発展の  
ため、本県の土木・建築行  
政の推進に一層の御協力  
をお願いいたしますと  
もに、新しい年が、皆様方  
にとりまして、希望に満ち  
た、大いなる発展の年にな  
りますことを心より祈念  
いたしまして、新年の御挨拶  
といたします。

特に建設業における労働  
災害の発生状況は、4年  
連続の増加に歯止めがか  
かり、減少傾向に転じたと  
ころですが、建築工事業に  
おいては昨年は前年を上  
回る方が亡くなられまし  
た。鹿見島労働局におい  
ては、引き続き安心して健  
康に働くことが出来る職  
場に働きかけ、貴協会を  
含めた業界団体及び工事  
発注者との連携や協力関  
係を強化し、各事業場の自  
主的な労働災害防止活動  
が定着するよう展開する  
こととしております。

また、建設雇用改善推進  
助成金等の活用による建  
設業労働者の雇用改善を  
図ることとしております  
ので、本年も引き続きご理  
解とご協力をいただきま  
すようお願い申し上げます  
といたします。

# 新春を迎えて

鹿見島土木部建築技監 西園 幸弘



新年、おめでとうござい  
ます。

皆様には、心新たに健や  
かな新年をお迎えのこと  
とお喜び申し上げます。

また、平素より、建築業  
の健全な発展に御尽力  
いただいておりますこと  
に敬意を表します。

さて、県有建築物の整備  
については、昨年、鹿見島  
聾学校や松陽台第二団地  
1期等が完成したほか、川

たところでは、本県では、  
これまで市町村において、  
条例の制定や空き家の改修  
除却等に対する助成など  
地域の実情に応じた取組  
が推進されておりますが、  
県においては、県議会から  
の政策提言に基づき広域  
的な広報・啓発や空き家対  
策マニュアルの作成など  
空き家対策に取り組む市  
町村の支援を行うことと  
してまいります。

# 新年のごあいさつ

鹿見島市建設局長 森重 彰彦



平成二十七年の新春を  
迎え、会員の皆様へ謹んで  
お慶びを申し上げます。

昨年は、政府による積極  
的な金融・財政政策や、成  
長戦略の推進、さらには震  
災復興やオリンピック需  
要により、景気は緩やかな  
回復基調にあるとされて  
きましたが、消費税率の引  
き上げによる影響で個人  
消費が冷え込み、国内総生  
産が2四半期連続のマイ  
ナス成長になるなど、厳し  
い面も見られた一年でし

たところでは、本県では、  
これまで市町村において、  
条例の制定や空き家の改修  
除却等に対する助成など  
地域の実情に応じた取組  
が推進されておりますが、  
県においては、県議会から  
の政策提言に基づき広域  
的な広報・啓発や空き家対  
策マニュアルの作成など  
空き家対策に取り組む市  
町村の支援を行うことと  
してまいります。

たところでは、本県では、  
これまで市町村において、  
条例の制定や空き家の改修  
除却等に対する助成など  
地域の実情に応じた取組  
が推進されておりますが、  
県においては、県議会から  
の政策提言に基づき広域  
的な広報・啓発や空き家対  
策マニュアルの作成など  
空き家対策に取り組む市  
町村の支援を行うことと  
してまいります。

たところでは、本県では、  
これまで市町村において、  
条例の制定や空き家の改修  
除却等に対する助成など  
地域の実情に応じた取組  
が推進されておりますが、  
県においては、県議会から  
の政策提言に基づき広域  
的な広報・啓発や空き家対  
策マニュアルの作成など  
空き家対策に取り組む市  
町村の支援を行うことと  
してまいります。

たところでは、本県では、  
これまで市町村において、  
条例の制定や空き家の改修  
除却等に対する助成など  
地域の実情に応じた取組  
が推進されておりますが、  
県においては、県議会から  
の政策提言に基づき広域  
的な広報・啓発や空き家対  
策マニュアルの作成など  
空き家対策に取り組む市  
町村の支援を行うことと  
してまいります。

たところでは、本県では、  
これまで市町村において、  
条例の制定や空き家の改修  
除却等に対する助成など  
地域の実情に応じた取組  
が推進されておりますが、  
県においては、県議会から  
の政策提言に基づき広域  
的な広報・啓発や空き家対  
策マニュアルの作成など  
空き家対策に取り組む市  
町村の支援を行うことと  
してまいります。

たところでは、本県では、  
これまで市町村において、  
条例の制定や空き家の改修  
除却等に対する助成など  
地域の実情に応じた取組  
が推進されておりますが、  
県においては、県議会から  
の政策提言に基づき広域  
的な広報・啓発や空き家対  
策マニュアルの作成など  
空き家対策に取り組む市  
町村の支援を行うことと  
してまいります。

たところでは、本県では、  
これまで市町村において、  
条例の制定や空き家の改修  
除却等に対する助成など  
地域の実情に応じた取組  
が推進されておりますが、  
県においては、県議会から  
の政策提言に基づき広域  
的な広報・啓発や空き家対  
策マニュアルの作成など  
空き家対策に取り組む市  
町村の支援を行うことと  
してまいります。

たところでは、本県では、  
これまで市町村において、  
条例の制定や空き家の改修  
除却等に対する助成など  
地域の実情に応じた取組  
が推進されておりますが、  
県においては、県議会から  
の政策提言に基づき広域  
的な広報・啓発や空き家対  
策マニュアルの作成など  
空き家対策に取り組む市  
町村の支援を行うことと  
してまいります。

たところでは、本県では、  
これまで市町村において、  
条例の制定や空き家の改修  
除却等に対する助成など  
地域の実情に応じた取組  
が推進されておりますが、  
県においては、県議会から  
の政策提言に基づき広域  
的な広報・啓発や空き家対  
策マニュアルの作成など  
空き家対策に取り組む市  
町村の支援を行うことと  
してまいります。

たところでは、本県では、  
これまで市町村において、  
条例の制定や空き家の改修  
除却等に対する助成など  
地域の実情に応じた取組  
が推進されておりますが、  
県においては、県議会から  
の政策提言に基づき広域  
的な広報・啓発や空き家対  
策マニュアルの作成など  
空き家対策に取り組む市  
町村の支援を行うことと  
してまいります。

たところでは、本県では、  
これまで市町村において、  
条例の制定や空き家の改修  
除却等に対する助成など  
地域の実情に応じた取組  
が推進されておりますが、  
県においては、県議会から  
の政策提言に基づき広域  
的な広報・啓発や空き家対  
策マニュアルの作成など  
空き家対策に取り組む市  
町村の支援を行うことと  
してまいります。

たところでは、本県では、  
これまで市町村において、  
条例の制定や空き家の改修  
除却等に対する助成など  
地域の実情に応じた取組  
が推進されておりますが、  
県においては、県議会から  
の政策提言に基づき広域  
的な広報・啓発や空き家対  
策マニュアルの作成など  
空き家対策に取り組む市  
町村の支援を行うことと  
してまいります。

たところでは、本県では、  
これまで市町村において、  
条例の制定や空き家の改修  
除却等に対する助成など  
地域の実情に応じた取組  
が推進されておりますが、  
県においては、県議会から  
の政策提言に基づき広域  
的な広報・啓発や空き家対  
策マニュアルの作成など  
空き家対策に取り組む市  
町村の支援を行うことと  
してまいります。

たところでは、本県では、  
これまで市町村において、  
条例の制定や空き家の改修  
除却等に対する助成など  
地域の実情に応じた取組  
が推進されておりますが、  
県においては、県議会から  
の政策提言に基づき広域  
的な広報・啓発や空き家対  
策マニュアルの作成など  
空き家対策に取り組む市  
町村の支援を行うことと  
してまいります。

たところでは、本県では、  
これまで市町村において、  
条例の制定や空き家の改修  
除却等に対する助成など  
地域の実情に応じた取組  
が推進されておりますが、  
県においては、県議会から  
の政策提言に基づき広域  
的な広報・啓発や空き家対  
策マニュアルの作成など  
空き家対策に取り組む市  
町村の支援を行うことと  
してまいります。

# 支部だより

## 北から南へ

鹿見島支部副支部長 中村 明人



十一月二日から北海道  
旅行をしました。羽田空  
港で乗り継ぎ、一時間四  
五分のフライトで道東に  
位置する女満別空港に着  
きました。最初に訪れた  
流水館では濡れタオルが  
凍る体験をし、網走監獄  
では厳重な建物から脱獄  
した人物の話、囚人によ  
る道路建設等の貴重な話  
を聞き、釧路の地に宿泊  
しました。翌日は阿寒湖  
遊覧船でマリモを見学し  
富良野を通り、四月に訪

れた時は晴天でしたが今  
回は傘が吹き飛ばす雪の中  
旭山動物園の坂道を寒さ  
に震えながら往復しまし  
た。ちなみにその時の旭  
川空港は二六センチの積  
雪とのことでした。翌朝  
は雪の残る中、雪の美術  
館、男山酒造を見学し、  
夕方四時半とは思えない  
ほど暗く雪の降る中、一  
路札幌へと向かいました。

次の日は小樽運河、ワイ  
ン工場を見学して帰路に  
着きました。

同月十一日からは、沖  
縄旅行に出かけました。  
鹿見島空港から一時間半  
で那覇空港です。南国の  
海はエメラルド色で目を  
輝かせました。牧志公設  
市場で沖縄料理、泡盛を

堪能し国際通りを散策。  
翌日は国営沖縄記念公園  
で前方に白い砂浜、八重  
山を眺めながらのイルカ  
ショー見学、新しい装い  
の首里城、基地問題で揺  
れ動く青い空と紺碧な海  
の辺野古を見て、平和記  
念公園の隅にある沖縄戦  
で亡くなられた鹿見島県  
人の慰霊塔に花束を手向  
け、資料館に足を運び、  
修学旅行生で混雑してい  
るひめゆりの塔を後にし  
て一路鹿見島へ。

後日、男山酒造の酒、  
沖縄の泡盛を自宅で飲ん  
だところ風味が異なるよ  
うに感じました。やはり  
地の酒、地の食べ物は風  
土、気候にあった地場で  
の飲食が一番マッチして  
いるようです。奇しくも  
同じ時期に日本列島の南  
北を旅する事になり、北  
は雪、南は真夏を体験し  
日本の国土がいかに縦長  
であるかを再認識したと  
ころです。両方の地に機  
会があればまた出かけた  
いと思えます。

など、色々な漢字の中に  
こっそりと潜んでいます。  
そういえば、私の名前に  
も家内の名前の中にも「羊」  
が潜んでいることを、こ  
れを書いていて気が付き  
ました。

それでは、本年もまた、  
皆様の業務におかれまし  
ては、お客様の痒いところ  
に手が届き、また咄嗟  
の遅達には最善を尽くす  
態を着実にされ、我々建  
設業が他から羨ましがら  
れる業界となりますよう  
お祈り申し上げます。

「羊」という字は「未」  
の字から発祥したらしい  
のですが、「群」「義」「鮮」

「羊」という字は「未」  
の字から発祥したらしい  
のですが、「群」「義」「鮮」

「羊」という字は「未」  
の字から発祥したらしい  
のですが、「群」「義」「鮮」

## 私と羊

南薩支部会員 川路 洋人



新年明けましておめで  
とうございます。

毎年私は仕事始めに、  
一年の目標ではありませ  
んが、その年の干支にち  
なんだスローガンを掲げ  
ます。ちなみに昨年の午  
年のそれは、「上手く」「巧  
く」「美味しく」でした。  
人と上手にお付き合いを  
し、仕事では自分の技量

を生かす。家庭では、食  
事を美味しく頂いて、健  
康に生活しましょうの意  
味です。

そして、年男になる今  
年は、「美しく詳細にさ  
れる業務が、多祥の年へ  
の大義となる。」としま  
した。「羊」の字を5つ  
忍ばせてあります。ここ  
ついで、強引なのですが、  
丁寧に仕事をすることで、  
一年を振り返ったとき、  
今年は良かったと感じら  
れればと、思いを込めて  
います。



こだわり

北薩支部監事 井島 祐一郎



私は十数年前に九州国立博物館の建設にたずさわった。二階のフロアには館の心臓部である収蔵庫がある。フロア面積の約九割は収蔵庫で十三室あり、一般の人は絶対に入ることには出来ない。私は収蔵庫の仕様に關しては元の設計をまるつきり変えてしまった。半永久的に文化財等を保存する事を目的とする仕様に考えた。反発も多くあったが、施主である文部科学省が私の考え方に賛同してくれた事で変えることが出来た。壁天井の仕様は、躯体+空気層+防湿層+調湿材+空気層+日本杉材がこの仕上げの日本杉材については赤身の一切ない白、そ

れと米粒程度の節も許され無い無節。だから小国杉のように管理して育てられた杉の木であつても丸太の外側しか使えず、一本の杉から多くて四枚の板しか取れない。小国、日田、玖珠、八女から納入された杉板はなんと三万枚。倒した原木は一万余本。現場で一枚一枚全て受入れ検査をしたが、条件を満たす板がなかなか揃わない。各々の森林組合が困難を極めながらも何とか調達してくれた。何故白の無節でないといけないのか。赤身や節からは蟻酸や酢酸などの酸を放出するからだ。この事は、私が公的機関の研究所との共同研究で実証した。では何故酸がダメなのか。人間と同じで収蔵物の劣化速度を速めるからだ。酸だけではなく、アルカリも劣化の要因になる。だから躯体コンクリートから空气中に放出されたアンモニアを含む水分が、絶対に庫内に入らない構造にしておくはな

曾於支部より

曾於支部支部長 久徳 博文



昨年末の「アベノミクス」の評価を問う突然の衆議院解散で、協会会員の皆様におかれては慌ただしい師走を過ごされたのではないかと察します。自分自身此れしかないかと信じていただけに驚いたところでした。結果は皆様もご存知の通り、各區で力の限り戦い、「自公連立」が圧勝しました。が、今後も地方創生に向けた政策に力を注いで頂きたいと思ひます。

さて、我が曾於支部は、会員数十二名と少ないながら、和氣満々の中、昨年同様活動を行いました。まず四月には、本部総会に先立ち支部総会を行い、原案通り二十六年度の指針を可決して頂きました。それに則り七月には、先進地視察として大阪市の「アベノハルカス」への一泊二日の研修を行いました。やはり先進技術の粋を集めた建造物は、圧巻でした。時の先端施設を見る事は、目の保養だけでなく今後の後学の為にも、次年度も計画して欲しいとの会員の声でした。また同月には、久しぶりに会員相互の親睦を図る為、持回

新年のご挨拶

種子島支部支部長 日高 政浩



平成二十七年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。また、皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えの事と存じます。昨年、種子島支部長を命ぜられてから、早一年が経過しようとしています。その間前田会長をはじめ、各支部長、役員の方には色々とお指導頂き、誠にありがとうございました。種子島支部の会員

の皆様にはお世話になり書面をもって厚くお礼を申し上げます。さて、昨年の十二月三日午後一時二十二分に種子島宇宙センターより「はやぶさ2」のロケットが発射されました。マスコミでも連日報道された通り二回の延期のあとの打ち上げは格別の思いがありました。小惑星「1999 JU3」までの四年間の旅に出て、そこで探査しサンプルを掴み取り、また二年間の旅を終え二〇二〇年の東京オリンピックの年（鹿児島では国体も開かれる年です）に、地球に帰還する予定です。何とも不思議で、そして素晴らしい日本の技術の高さに感じ

動するばかりです。そして、建築も同じように日本の持つ技術の素晴らしい技術を後世に残せるような業界になりたいものです。衣食住といわれるように住家は人が生きていく上ではなくてはならないものです。これから先、世の中がどう変わろうとも住家がなくならないことはありませぬ。これに携わる全ての方々に適切な賃金を支払える環境作り、若手の人材確保は重要になってくると思ひます。私共の今の時代ではなく、これから未来のある子供たちのためにも魅力のある建築業界にしていくべきです。最後になりましたが、本年が皆様にとつても良い年になりますよう御健康と御多幸を心からお祈り申し上げます。

仁

始良・伊佐支部専務理事 末重 堅司



皆様、新年あけましておめでとございます。平成二十七年の幕が開き、ご家族そろって健やかな年をお迎えのことと存じます。今年の干支はひつじですが、ひつじは群れをなしてその社会を形成していると言ふ事から「家族の安泰」といふ意味が込められているのだそうです。人情が薄れ干支の意味とは裏腹な事ばかりが社会問題として度々取り沙汰されるような殺伐とした世相の今日この頃ではありますが、干支に込められた意味を改

めて問い直してみたいとつくづく感じる新年でもあります。旧年は思いもよらない総選挙で足早に幕を閉じましたが、政権政党の先生方には国民総選挙時代が来るよう凛としたリーダーシップを執って頂き、真に暮らしやすい調和のとれた美しい日本を築いて行って頂きたいと願うばかりです。千秋不動 一聲仁 昨年暮れ、わが町にはホッとしたニュースが届きました。つるぞえひなたくんと言ふ少年の名前を覚えていらつしやるのでしょうか？ 拘束型心筋症という五十万人に一人の難病と診断された男の子です。私たちが、PTAの有志で救う会を立ち上げ、一昨年前の暮れから約四ヶ月募金活動を行いました。メンバーの全員がそのような活動の経

験も無く、手探りの状態からのスタートでした。取っ掛かりをどうしたら良いのか迷った挙句、私は同業者の皆様の手元へと走り出しました。その結果、多くの皆様が耳を傾けて下さり、無償のお力添えを下さいました。お陰様で予定していた期間内、目標以上の浄財を寄付して頂くことが出来ました。正に、千秋不動一聲仁「※千年を経て、びくともしないものは仁」である※と言ふ言葉の意味が、身に染みた出来事でした。渡米から僅か八か月、ご存知のようにひなたくんは、アメリカで移植手術を受け、元気な姿で故郷へ戻ってくる事が出来ました。本当に、ありがとうございました。さて、この新年はどのような年になるのか、期待を胸に抱いて前進したいと思ひます。 初春

新年のご挨拶

奄美支部副支部長 川口 和範



新年明けましておめでと御座います。昨年は当支部でも会員の皆様方の協力のもと様々な活動や、陳情等などの成果が表れた年だったのではなかつたかと思ひます。また、消費税の増税に伴い、建築業を取り巻く環境が駆け込み需要などによって大きく変化し、一部の施工業者数に比べては、需要と工期等にも影響が出るなど苦慮した年でもありました。

そして、十二月には衆議院議員解散総選挙も行われ、我々が支持する政党が勝利しました。政権には外交防衛・社会保障のみならず我々建築業界の発展についても考えて頂きたいと思ひます。世間では、景気が良くなつたと言われていますが、大企業及び都市部の企業のみで、まだまだ、地方には経済が上向きになつたと言ふ実感がないと言われています。この事から、我々協会も一体となつて知恵を絞る、様々な事を考え業界発展の為に取り組んでいかなければならぬ年だと考えます。最後に、今年も支部会員の意見を頂きながら、協力し合い取り組んで参りましょう。

鹿屋支部より

鹿屋支部支部長 梅木 一宏



昨年は、小惑星探査機「はやぶさ2」で有名な内之浦宇宙空間観測所のある肝付町に楠中高一貫教育校寄宿舎新築工事の1期工事が完成し、将来宇宙をめざす若者を輩出すべく夢ある施設が整いつつあります。年末には、永年の悲願でありました東九州自動車道の串良鹿屋道路も開通しました。また、高速道路の串良インター

の近くには大隅農業加工技術拠点施設も完成し本年四月より運用開始となります。従いまして、野菜などの農産物がこの施設で付加価値が付けられ、さらに輸送時間や輸送コストが飛躍的に改善されるので、この地域の農業分野での競争力が格段に強化されると思われます。大隅半島の主要産業であります農業・畜産などの一次産業が活気づけば、雇用創出が確保・拡大され、若手の農業従事者や後継者の増加に繋がると思われます。その事はいづれまた、私たち建築業界の暗く

**新入会員紹介**  
(平成26年4月1日より入会)

よろしくお願ひします

小島 渡  
小島工務店(株)

前野 健二  
(株)前野建設

※県立楠中高一貫教育校について  
公立で全国初の全寮制男子校です。「楠」のように大地に根付いた揺るぎない人間性を持ち、「準」のように遙か遠くを見通せる人づくりを目指します。

# 晴れの受章 心から お祝い申し上げます

## 旭日双光章



前田 正人 三和建設(株)

起業を目指していた昭和五十一年元旦、不安を感じながら初日を拝み、事業の成功と生活の安定を願い、これまで何事も一生懸命を生活信条に頑張ってきました。紆余曲折はありましたが先輩・同僚に励まされ今日に至り、早いもので節目の四十年目を迎えます。



## 黄綬褒章



横村 満昭 横村建設(株)

人生にはいくつもの出逢いがあり、人と人の交わりが人生におかげさまをこうむることと強く感じる今日この頃です。



## 国土交通大臣表彰



中村 明人 協和建設(株)

昨年七月、国土交通大臣表彰を受賞致しました。これも偏にこれまでお力添えを頂いた皆様のお陰と心より感謝しています。建築業界の今後益々の発展に微力ではございますが力尽くして参りたいと存じますので、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

# 年男のコーナー 二〇一五年

## 年男を迎えて

重留建設 重留 静



新年明けましておめでとうございます。

今年も羊年で六回目の年男を迎えることになりました。私の好きなゴルフと健康について話をします。

平成二年に南九州カントリーの会員権を購入しました。当時、景気が良く、銀行の紹介でやっと手に入りました。会員となり先輩方と一緒にプレーをし、平成十年にシングル位になり平成十五年にはハンディ4まで上がりました。こまめには順調にきたのですが、平成十六年に体調を崩して地

元の病院に行ったところ、鹿大病院を紹介され受診した結果、C型肝炎との宣告を受け厚生連病院で入院治療が始まりました。インターフェロンを八十本打たなければならず、週に三本で約半年間かかる事と副作用もあり髪の毛が抜け、打とうと決め治療に入りました。治療を開始してから十本、二十本までは副作用は感じなかったのですが、三十本を過ぎた頃から効果が現れ同時に副作用も出始めました。副作用には個人差があり、私の場合には食事が取れなくなり困りました。しかし、病気に負けるものかと思ひ、自宅に連絡しゴルフ道具を届けてもらいゴルフ場に直行して先輩方にお願



## 還暦に思ひんと

塚田 洋一



新年明けましておめでとうございます。

私は昭和三十年一月生まれで今年還暦を迎えます。還暦とは、六十年で十二支が一巡し起点に戻ることをいうのだそうですが、私は今年を人生の再出発の年だと考えています。思

え、今まで病気のとの闘いの連続でした。四十二歳(厄年)の時、胃の腫瘍が見つかり大部分を摘出し、その後あまり食事をとることもできず、また、腸閉塞に悩まされ続け、気力体力とも、衰えてきたのを感じ、リハビリのつもりでゴルフの練習を始めました。おかげで徐々に体力も回復しシングルにもなれました。

しかし、腸閉塞の症状は続き一年に数回入院するよ

## 還暦雑感

橋口組 橋口 知章



新年明けましておめでとうございます。

いよいよ五回目の年男を迎えることとなりました。川内に生まれ、川内で育ち、川内で仕事をさせていた。会社として六十四年、亡き父から社長を引き継いで十七年、今の自分があるのはこれまで多くの人たちを支えていただいたおかげと心から感謝しております。

最後にありますが、会員の皆様方も御健康には十分気を付けて下さい。皆様御祈念致します。

## 四度目の年男

村岡工務店 村岡 博文



新年あけましておめでとうございます。

月日のたつのは早いもので四度目の年男を迎えました。一回り前の十二年間は第二子誕生・社長交代・母の死・心臓弁膜症がわかり手術・未曾有の東日本大震災と自分にとって記憶に残る時代でした。年男は自分の人生を考る節目の年なので、これまでの自分を反省し、今後の目標を立て直すよい機会としたいです。先行きが不透明で不安になるとい

う状況のなかで仕事的には目前の忙しさに追われ人材育成よりも短期的な成果、

の結果、椎間板の髄核が突出して、逆に今はわりと快適という不思議な現象が起きております。また、脳も年をとれば経験・知識はある程度は増えていき、知識・知恵で勝負したくなりがちですが、やはり行動力を失わないように、心も体も鍛えていかなければと考えております。

地元三十人以上と一緒に飲んで同級生たちがいまして全員がすばらしく健康で元気です。このすばらしき友人たちと、老害にならないよう、金は出してもあまりもつていませんが、口は出さないよう、目立たぬよう、そしておかげ様の気持ち忘れずに頑張りたいと思ひます。

## 昭和一八年生まれ



秋窪 義秀 秋窪建設(株)



坊地 眞人 坊地建設(株)



梅木 一宏 齊藤建設(株)



村岡 博文 久徳建設(株)



塚田 洋一 徳田建設(株)



橋口 知章 橋口組



松永 康之 松永工業(株)



村岡 博文 村岡工務店

## 昭和四二年生まれ



川路 洋人 川路建設(株)

(五十音順・敬称略)

2014かごしま▶  
住まいと建築展  
〈担当:工事委員会〉  
(10月24日~26日)



◀鹿児島県との協議会  
〈担当:総務・工事委員会〉  
(10月27日)

合同安全パトロール▶  
〈担当:労務委員会〉  
(11月18日)



自民党県議団建設問題調査会との  
協議会  
〈担当:総務委員会〉(12月5日)



# 協会の動き



◀第53回通常総会  
(5月23日)

▶全国安全週間説明会  
〈担当:労務委員会〉  
(6月20日)



▶集団献血  
(7月4日)



▶建築積算等研修会  
〈担当:工事委員会〉  
(10月10日 鹿児島)  
(10月15日 鹿屋)  
(10月21日 薩摩川内)



▲建築の日ボランティア〈担当:建築協会各支部〉  
(10月4日)

安全は あせらず 無理せず 油断せず (タテ)  
安全な 職場が咲かす みんなの笑顔 (ヨコ)  
地域に 感謝と 責任を (キャッチフレーズ)



安全標語等選定委員会

建築協会の  
新安全標語と  
キャッチフレーズ  
が決定しました!  
平成二十六年  
度事業として安全標語(タテ・ヨコ)及びキャッチフレーズを募集したところ、会員、一般の方々から多数のご応募を頂き、十一月二十日安全標語等選定委員会による厳正な審査が行われ、次の三点が採用されました。

平成二十七年

## 新春建築四団体合同賀詞交歓会

新春恒例の「新春建築四団体合同賀詞交歓会」が一月五日城山観光ホテルにて開催されました。初めに主催者を代表し施設協会畠田会長の挨拶のあと、来賓の方々より祝辞を頂き、来賓や各団体長がハッピーを着て鏡開きが行われ、空調衛生工業協会青木会長の乾杯発声の後、出席者はしばし歓談をしました。交歓会には来賓をはじめ建築四団体会員が多数出席し、盛大な催しとなり新年の門出にふさわしい輝かしい幕開けとなりました。



## 安全祈願祭 第三十八回安全大会

労務委員会の事業の一環である安全祈願祭及び第三十八回安全大会が鹿児島県護国神社にて開催され、約百名が参加しました。厳かに執り行われた安全祈願祭では、来賓、建築専門業団体、建築協会の代表が玉串を奉げ安全を祈願しました。その後、場所を講堂に移し、建築協会会長の挨拶で始まった安全大会では各種表彰の授与や来賓の方々よりご祝辞を賜った後、大会宣言をもって締めくくられ今年一年の無事故・無災害を誓い合いました。各種表彰者の受賞は次の通りです。(敬称略)

- 個人賞(功績賞) 梅木 一宏 齊藤建設(株) 該当事者なし
- 個人賞(功績賞) 該当事者なし
- 個人賞(職長賞) 該当事者なし
- 善行賞 該当事者なし
- ☆平成二十六年 一般社団法人鹿児島県建築協会会長表彰 功労賞 該当事者なし
- 功績賞……二名 有馬 博文 (株)久保工務店 杉田 智子 内村建設(株)
- 安全衛生管理優良賞 ……四現場 橋口組・末廣組・中池組 特定建設工事共同企業体 工事名:消防庁舎等 建設事業 消防庁舎 新築(建築) (発注者:薩摩川内市)
- キャッチフレーズ……一名 最優秀賞 白坂 明子 曾山建設(株)
- 安全標語……二名 最優秀賞 (株)内門工務店 優秀賞 山下 剛秀 水口建設(株)
- ☆厚生労働省労働基準局長 無災害記録表彰 該当事者なし
- ☆平成二十六年 建設業労働災害防止協会 鹿児島県支部長表彰 優良賞(事業場賞) 該当事者なし
- ☆平成二十六年 阿久根建設・丸久建設・宮内建設特定建設工事共同企業体 工事名:鹿児島港(新港区)整備(起債)(旅客上屋) (発注者:鹿児島県)
- 宇都組・田島組特定建設工事共同企業体 工事名:亀山小学校 屋内運動場新增改築(建築) (発注者:薩摩川内市)
- 中央建設・協和建設・満塩建設特定建設工事共同企業体 工事名:鹿児島港(新港区)整備(起債)(3号上屋1期) (発注者:鹿児島県)



# 新年のごあいさつ

一般社団法人鹿見島建築協会  
青年部会 部長 **木落 孝作**



新年明けましておめでとうございます。当部会会員の皆様におかれましては、平素より当部会の活動にご協力いただきましてありがとうございます。又、本会の役員、本会会員の皆様におかれましては、多大なご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

いままです。今後も引き続きご指導ご支援の程、よろしくお願ひ申し上げます。さて、早いもので昨年の四月より青年部会部長として務めて参りましたが、今年度も残り僅かとなりました。四月の定時総会を皮切りにさまざま活動に取り組みました。総務・IT委員会は総会の運営企画、O誌の発行を行い、会員研修委員会は会員拡大事業や三県合同研修会熊本、講師をお招きして

の経営者研修会を十一月に行いました。活動委員会においては毎年恒例の「かこしま住まいと建築展」のブース出展に加えまして県内の専門学校生、工業系高校生を対象に建築系の学生との座談会を開催いたしました。全ての事業において大変有意義な活動でしたが、次年度に向けて、更にはパワーアップして行きたいと思っております。理事役員の皆様におかれましては引き続きご協力の程、よろしくお願ひ致します。

い致します。最後にありますが今年度は新たに十名の仲間にご入会いただき大変活気が出て参りました。しかし、今後の卒会者による減少や来年に迫りました青年部会設立二〇周年に向けてまだまだ拡大事業に専念して参らなければなりませんので当部会活動も含めて会員の皆様のご協力の程、よろしくお願ひ致します。

## 青年部会会員募集

青年部会では会員を募集しています。詳細については、建築協会事務局までお問い合わせ下さい。

### 新入会員です

よろしくお願ひします!



株田川組 近藤 慶太郎  
会員研修委員会



坂本建設(株) 諏訪園 匠  
活動委員会



株田頭建設 田頭 謙一  
総務・IT委員会



株中池組 中池 竜介  
活動委員会



株津田和建設 深町 康宏  
総務・IT委員会



株南建設 南 智和  
会員研修委員会



株森建設 森 義大  
会員研修委員会



安田建設工業(株) 安田 将希  
活動委員会



総務・IT委員長  
前田 忠倫

建築協会青年部会、総務・IT委員長を仰せつかっております。前田組・前田と申します。皆様どうぞ宜しくお願い致します。昨年4月

に開催しました定時総会では多数ご出席頂きましてありがとうございます。青年部会の総務・IT委員会では、総会の運営や懇親会、レクリエーションの開催等、青年部会の円滑な運営ができるよう活動しております。また、会報2000誌の発行や会員手帳の変更等も担当しております。そして再来年には青年部会の20周年も控えておりますので、それに向けての準備も進めて参ります。また、私個人としては建築協会の役員にもなり、青年部会と合わせて役員を務めさせて頂くこととなりました。多数の先輩方を差し置いて、大変恐縮ではございますが、今まで以上に多くを学び、精進して参りたいと思っております。皆様どうぞ宜しくお願い申し上げます。



会員研修委員長  
伊藤 誠

新年明けましておめでとうございます。会員研修委員会の委員長として、早一年が経とうとしております。私の事業所が奄美というところで、委員長という大役が務まるのか自問していた時期もあり

ましたが、委員会のメンバーや担当部長、そして理事会の皆様のご協力と共により、今年度も残り少なくなりましたが引き続き精力的に取り組んでまいります。本年度は、経営者講習会と会員拡大を事業の柱として活動しております。経営者講習会につきましては、昨年十一月二十八日に社会保険労務士の先生をお招きし、就業規則や助成金について学びました。また、

青年部会の入会対象者に適宜お声掛けをさせて頂いておりました。会員拡大は、青年部会にとつて喫緊の課題となっておりますので、今年度も残り少なくなりましたが引き続き精力的に取り組んでまいります。本年も皆様のご指導を仰ぎながら魅力ある事業を企画し、青年部会がより一層有意義な場となりますよう努めますので、今後共、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。



活動委員長  
重留 巧治

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。活動委員長を仰せつかりこうして一年目を迎えています。木落部会長の指揮の下、先輩理事の助言や部会員のつ

ながり、そして委員会会員の協力を得て事業を行ってまいりました。昨年十月に青少年育成事業「学生との座談会」を昨年に引き続き行いました。今回が二回目となり、対象は高校生や専門学生がメインでしたが、参加校は六校に増え、参加人数も昨年より十八名多い四十六名の学生と引率の先生に参加していただきました。建築の、特に施工の魅力や女性の活躍などを話し、学生からは建築業の現状や将来性などの質問が

出るなど、われわれにとつても貴重な時間を持つことができました。少しでも若い人材が建築業界へ進む力になれるよう今後も取り組んでまいりたいと思っております。今年度はさらに青年部会のポランティア活動事業が残っております。委員会はさらに団結して魅力ある事業を展開し、青年部会や建築業界を盛り上げていきたいと考えておりますので、より一層のご指導・ご協力をよろしくお願ひ致します。



定時総会(総務・IT委員会)(平成26年4月16日)



定時総会懇親会(総務・IT委員会)(平成26年4月16日)



経営者講習会(会員研修委員会)(平成26年11月28日)



意見交換会(会員研修委員会)(平成26年11月28日)



学生との座談会(活動委員会)(平成26年10月26日)



建築展ブース出展(活動委員会)(平成26年10月26日)